



商品価値の向上を目指して — 研究開発の深化とグローバル戦略の強化

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第64期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の

株主通信をお届けさせていただきますので、

ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



— 当期業績の総括をお願いします。

二 プログループは、引き続き売上の拡大と、生産コストの低減に全力で取り組み、ユーザーの願いをいち早く実現することを目標に業績向上に努めてまいりました。

この結果、当期の実績は左記のとおりとなりました。また、セグメント別の概況については、3~4ページに記載のとおりです。

なお、期末配当につきましては、今後の事業展開および資金需要等に鑑み内部留保資金とのバランスに配慮し、1株につき21円50銭とさせていただきます。

— 2016年度を振り返って、いかがでしたか?

2 016年度は、先進国の政策転換などの影響により、世界情勢がめまぐるしく移り変わる激動の一年となりました。しかし、そのような状況下においても、ニプログループはさらなる発展を目指し、再生医療分野や整形外科分野をはじめとする最先端医療における事業拡大や、医療機器、医薬品の増産体制の構築等に取り組み、経営基盤の強化に努めてまいりました。

— 2017年度におけるニプログループ工場の運営方針について教えてください。

コ ーザーニーズは国や地域によってさまざまです。そこで、ユーザー目線に立って顧客ニーズを吸い上げ、他部門と協力しながらニーズに沿った商品を企画、開発していくべく、各グループ工場に「商品企画開発部門」を設置したいと考えております。また、「地産地消」の考えをベースに、品質の安定、不具合ゼロおよびコストダウンの徹底を図りつつ、各グループ工場それぞれが何らかの商品の「マザー工場」としての役割を果たせるよう、より一層生産基盤の強化、拡充に邁進してまいります。

— 最後に、株主の皆さまへメッセージをお願いします。

今 後も、研究開発活動の深化やグローバル戦略の強化等を通じて社会に貢献していくとともに、2020年度連結売上高5,000億円、同売上総利益率40%、同営業利益率15%、2030年度同売上高1兆円達成を目指して、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。株主、投資家の皆さまには、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

佐野嘉彦

第64期 通期実績

(単位:百万円)

	第63期	第64期	前期比
売上高	366,650	359,699	△1.9%
営業利益	24,204	28,770	+18.9%
経常利益	14,623	23,166	+58.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	19,718	11,346	△42.5%

セグメント別の概況

医療関連事業

売上高
2,621億98百万円

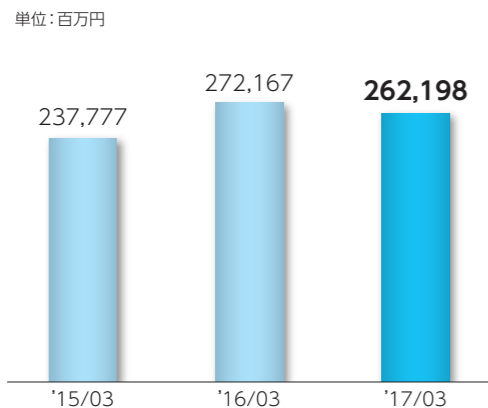
前期比
3.7%
減少



国内販売は、昨年4月に診療報酬改定、薬価改定が行われ、厳しい市場環境となった。メディカル営業部門は、注射・輸液関連製品、経腸栄養関連製品、検査関連製品、透析関連製品、バスキュラー関連製品、心臓外科(CVS)関連製品の全分野で堅調に推移。

特に、透析関連製品のHDFフィルター、バスキュラー関連製品の薬剤溶出型バルーンカテーテル、心臓外科関連製品の植込み型補助人工心臓の売上が大きく伸長。医薬営業部門では、後発医薬品使用促進策のもと、既存製品の拡大と、昨年6月と12月の追加搭載品目の売上増により、売上高は堅調に推移。

海外販売は、透析関連製品、ホスピタル関連製品の販売数量は増加。しかし、期中における円高進行により販売単価が目減り。また、連結子会社であったニプロダイアグノスティクス,Inc.の売却により売上減少。



医薬関連事業

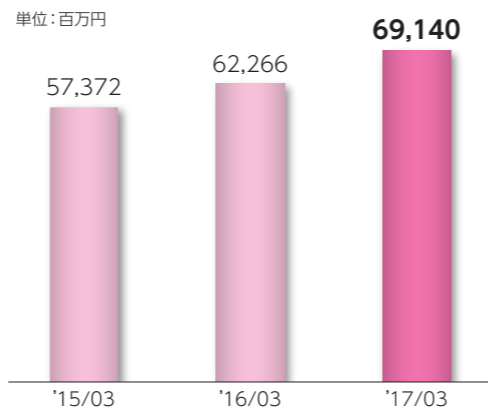
売上高
691億40百万円

前期比
11.0%
増加



それぞれの剤形における製剤設計からの開発受託、付加価値の向上、差別化を目指したライフサイクルマネジメントの支援など多様な受託営業に注力。バイオ医薬品ライン、高生理活性医薬品製造棟等専用ラインにおける受託製造の拡充に注力。さらに、海外生産拠点の生産数量増大が寄与し、売上高は堅調に推移。

医薬品包装容器・医薬品調整・投与デバイスでは、医療現場における多岐にわたるニーズに対して、各々の医薬品に適した容器、投与システムを提供することで順調に推移。また、医療費抑制政策のもとで、国内外の製薬メーカーと、将来のコンビネーション製品化、自己注射システム化、剤形・投与経路変更を視野に入れた総合的な医薬品のライフサイクルマネジメントによる協力をを行った。



ファーマパッケージング事業*

売上高
283億31百万円

前期比
12.0%
減少

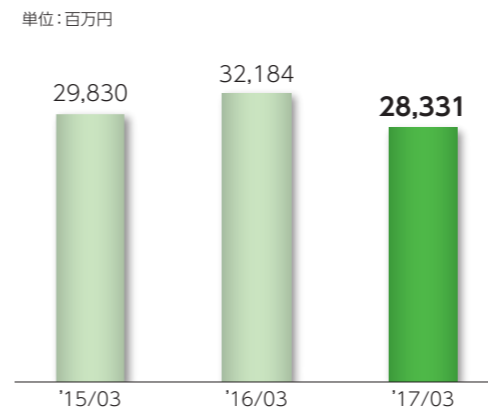


国内部門は、医薬事業部と連携して“One Nipro”を掲げてバイアル、プレフィルドシリンジの販売を行い、国内製薬会社に対する医薬用包装材料の商流を医薬事業部を介しての販売に変更。この商流変更にと

もない、セグメント間の内部売上高消去額の増加の影響を受け売上減。一方、魔法瓶は安定供給に向けた品質改善により売上を拡大。

海外部門は、大変厳しい市場環境の中、高付加価値製品の販売拡大を積極的に進め、為替換算影響を除く売上高はほぼ前年並み。製造面では、滅菌済みシリンジやアルカリ溶出リスクを最小にしたガラスバイアルVIALEX®等の高付加価値製品の出荷拡大、各工場における製造工程の自動化、生産効率化による品質の安定と向上、コストダウンを進め、収益性は向上したものの、売上減少。

※硝子関連事業から名称変更

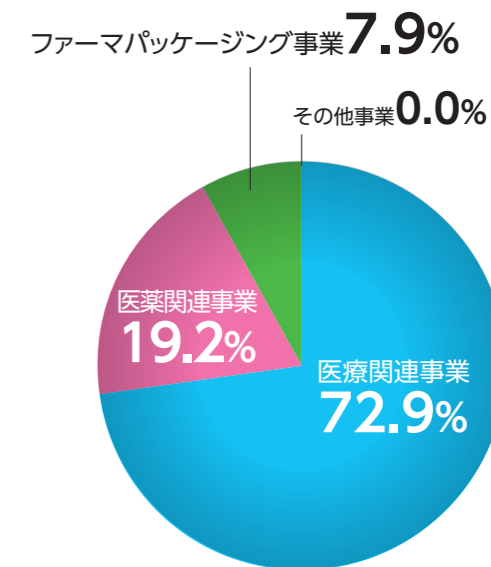


その他事業

売上高
29百万円

前期比
7.0%
減少

セグメント別構成比



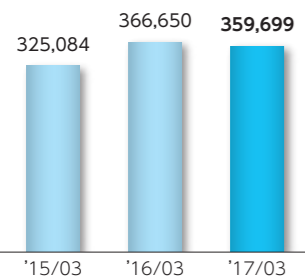
連結財務ハイライト

売上高

359,699
百万円



単位:百万円



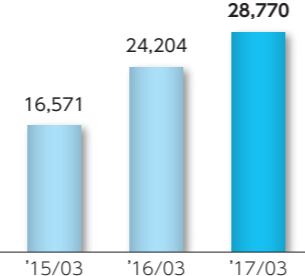
前期末に売却した子会社ニプロダイアグノスティクス, Inc.の売上高148億62百万円の減少に伴い、売上高は減少しました。

営業利益

28,770
百万円



単位:百万円



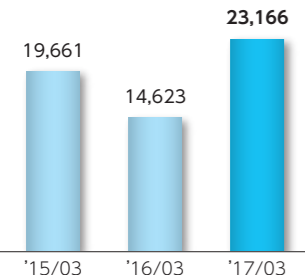
生産高の増加に伴う工場の生産性向上、および販売費及び一般管理費の減少に伴い営業利益は増加しました。

経常利益

23,166
百万円



単位:百万円



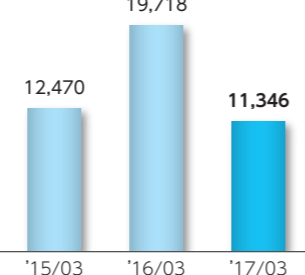
為替差損の減少等に伴い、大幅に増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益

11,346
百万円



単位:百万円



前期の特別利益(関係会社株式売却益等)の減少により、最終利益は大幅に減少しました。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、16年3月期より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としており、過年度の当期純利益についても科目名を統一しております。

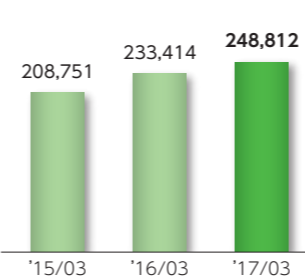
単体財務ハイライト

売上高

248,812
百万円



単位:百万円



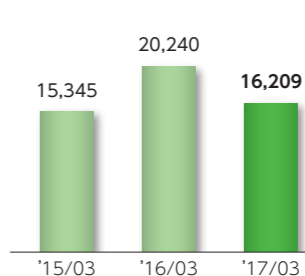
補助人工心臓、循環器関連製品、医薬品の受託製造等が伸長し、売上高は増加しました。

営業利益

16,209
百万円



単位:百万円



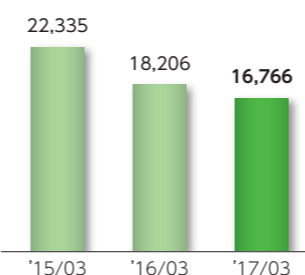
売上原価、販売費及び一般管理費ともに増加したことに伴い営業利益は減少しました。

経常利益

16,766
百万円



単位:百万円



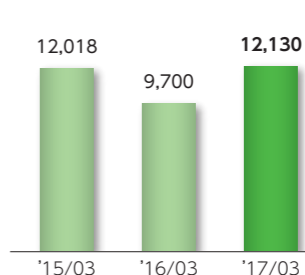
為替差損が減少するものの、経常利益は減少しました。

当期純利益

12,130
百万円



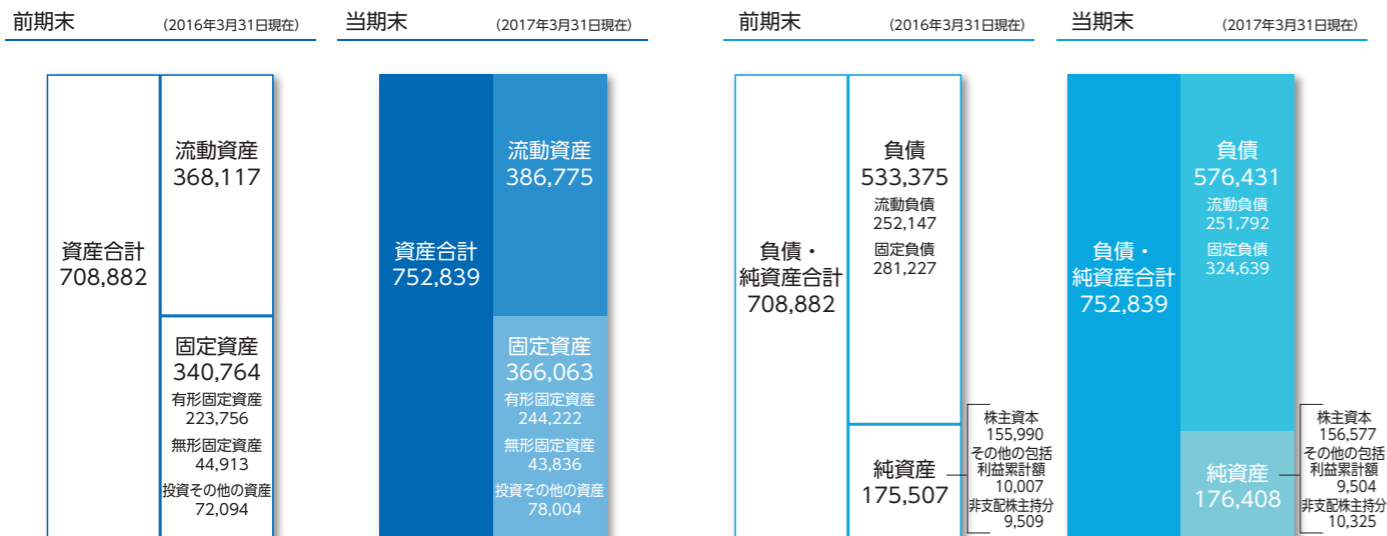
単位:百万円



特別損失の減少等により、当期純利益は増加しました。

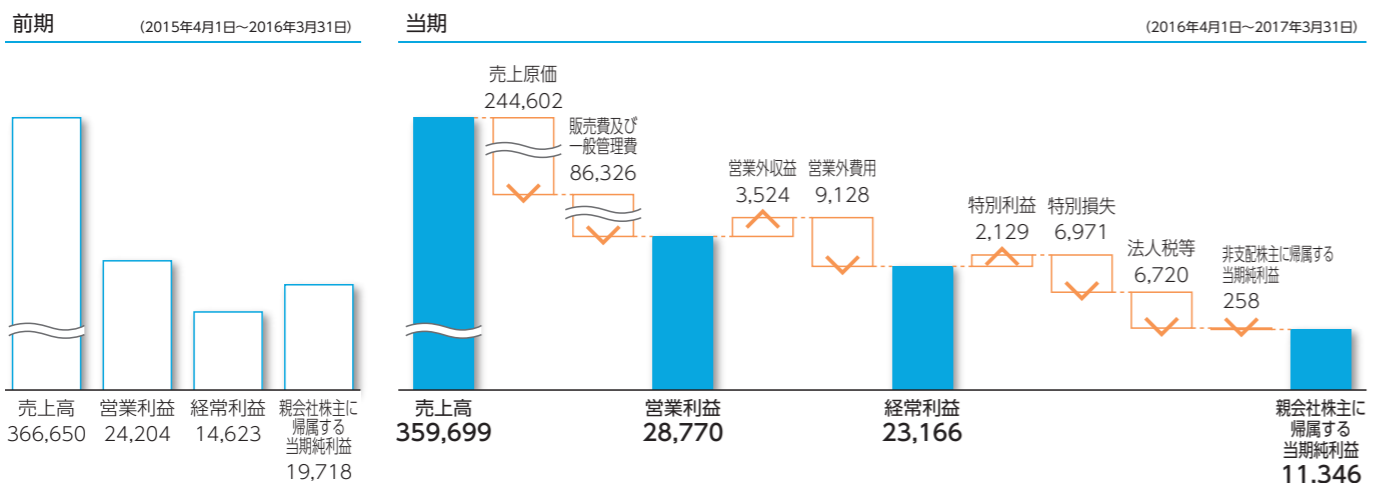
連結貸借対照表

(単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:百万円)



『2016年度グッドデザイン賞』を受賞

以下の3商品が「2016年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

1 ニードルレス輸液システム
セーフタッチ[®]輸液システム

点滴時の輸液ラインに混注管などが組み込まれた輸液システムです。薬液注入時に滞留がなく、シンプルで使いやすい混注管の構造が評価されました。



▲混注管

2 幹細胞用自動培養システム
CELLAFORTE[®] (セラフォルテ[®])

ES/iPS細胞等の幹細胞を大量に自動培養するシステムです。設置環境との調和が考慮され、高い精度で仕上げられている点が評価されました。



3 自然滴下の際の補助器具
滴びた[®]

自然滴下で輸液を行う際に、迅速かつ正確な滴下数を自動換算する器具です。医療現場の作業効率向上に寄与する点が評価されました。



※評価内容は、グッドデザイン賞Webサイト(<http://www.g-mark.org/>)を参考に記載しています。
※「滴びた[®]」の受賞企業はタツタ電線株式会社、事業主体はニプロとなります。

次世代の成長の柱 — 外科関連を強化

医療機器事業において、人工透析関連、一般 Disposable 製品、循環器内科関連製品に次ぐ成長の柱として、外科関連の医療機器を育成する方針としており、その一環として、整形外科領域を強化する目的でネクスメッドインターナショナル株式会社を買収。また、超音波血流計等の超音波技術による精密測定製品における世界のリーディング企業である米国企業 Transonic Systems Inc. を中核事業会社とする Measurement Innovations Corporation 社の企業グループとの間で、日本における合併事業を含む資本・業務提携を開始しました。今後、外科関連製品の品揃えを強化し、市場活動と拡販に取り組んでまいります。



中華人民共和国(合肥市)

約13億7,600万人と世界最大の人口を誇る中華人民共和国は、約9,600,000km²(日本の約26倍)という広大な国土を22省、5自治区、4直轄市、2特別行政区に分けています。近年は特に第三次産業の発達が目覚ましい中国ですが、依然として「世界の工場」としての存在感は健在です。

華東地域に属する安徽省の省都・合肥市は、国内外の諸都市とは空路のほか、高鉄(高速鉄道)による交通網で結ばれており、上海から高鉄で約3時間のところに位置します。

中国の医療事情

医療水準は加速度的に進歩しており、高度な医療を提供する大病院も多く設立されています。特に北京や上海等の大都市では、外国人向けの医療サービスも手厚くなっています。

中国全土の透析患者数は、2013年のデータで約28万人(出典:中国産業ニュース『中国産業情報』)といわれておりますが、透析治療の対象であるにもかかわらず、満足な治療を受けることができない潜在的な患者が、今もなお増え続けているとみられています。



人口	13億7,600万人
面積	約9,600,000km ²
言語	漢語(中国語)
首都	北京

(出典:外務省ホームページより)

事業所の紹介 一尼普洛医療器械(合肥)有限公司一



尼普洛医療器械(合肥)有限公司は、安徽省合肥市南部に位置するニプログループの医療機器生産工場です。中国国外へ輸出用のダイアライザを主力として生産しておりましたが、加えて本年より中国国内向けのダイアライザの製造・出荷を開始す

る予定です。「地産地消」で中国の顧客ニーズを満足させる商品づくりを日々めざしており、将来的にはダイアライザに加え三方活栓・血液回路等の生産も予定しております。従業員数は2016年12月末現在479名で、うち日本人駐在員は6名です。

経済の流れについて



◆地下鉄

合肥市では、交通のインフラ整備が急速に進んでいます。昨年末、市内初となる地下鉄が開業しました。約7~8分の間隔で市内の主要箇所を南北に縦断する利便性から、連日多くの市民が利用しています。現在はまだ1路線のみですが、東西に延びる2号線をはじめ、後続する路線が次々と建設・計画されています。

食事について

合肥市内にはレストランが多いですが、同じくらいに多いのが屋台です。市内の至る所にある歩行者用の道路は必ず屋台街になっており、美味しそうな匂いが立ちこめています。早い・安い・旨い・大盛り・四拍子揃った料理は、その場の飲食はもちろん、持ち帰りもできるため、屋台街の夜は常に活気にあふれています。



◆屋台街

観光名所・歴史について



◆明教寺

合肥市で一番の繁華街であり、歩行者天国にもなっている「淮河路步行街」。その中程に古刹「明教寺」があります。明教寺は、6世紀初頭、曹操によって築かれた弓の練兵場(教弩台)の跡地に建立されました。今では、憩いの場として市民に愛されています。

ニプログループ医療機器事業の柱 「透析関連事業」のさらなる世界展開

ニプログループでは、今後ますますの拡大が見込まれる国内外の透析需要に応えるため、海外における透析関連製品の生産体制強化に乗り出すとともに、透析・トレーニングセンターを開設するなど、積極的に世界展開を進めてまいりました。

◇透析関連製品の生産体制を強化

現在、ニプログループでは、ニプロ 大館工場(秋田県大館市)、ニプロインドアコーポレーションPRIVATE LIMITED(インド サタラ市)、尼普洛医療器械(合肥)有限公司(中国 安徽省 合肥市)の3工場でダイアライザを製造しています。

ますますの拡大が見込まれる国内外の透析需要に応えるため、今後、ニプログループでは上記インド・中国

の工場においてダイアライザの増産体制を整えていくとともに、新たに設立した医療機器製造子会社 ニプロベトナム COMPANY LIMITED(ベトナム ホーチミン市)によって、その他の透析関連製品についても生産能力の強化を行い、透析関連製品のより一層磐石な安定供給体制を構築してまいります。



ニプロインドアコーポレーションPRIVATE LIMITED



尼普洛医療器械(合肥)有限公司



ニプロベトナム COMPANY LIMITED(完成予想図)

◇海外における透析・トレーニングセンターの開設

2017年2月4日、インド マハラシュトラ州 プネ市に「透析・トレーニングセンター」を開設しました。当センターでは最先端の透析装置等を設置し、患者さまへ高品質な透析治療を提供するとともに、ニプロのショーケースとしての役割も果たしています。また、透析技師・看護師向けのトレーニング設備も併設していることから、透析技術者の創出に寄与し、同国における医療の発展にも貢献していくものと考えております。

今後も同様のセンターを世界各国に開設し、地域医療に貢献しつつ、さらなる事業展開に邁進してまいります。



ニプロ株式会社 NIPRO CORPORATION (2017年3月31日現在)

設立 1954年7月8日
 資本金 84,397,840,000円
 事業内容 医療機器・医薬品および医療用硝子製品の製造・販売
 従業員数 3,367名(連結従業員数 27,415名)
 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第1部(証券コード 8086)
 ホームページ <http://www.nipro.co.jp/>

取締役および監査役 (2017年6月28日現在)

代表取締役社長	佐野 嘉彦	取締役	佐野 一彦
常務取締役	佐藤 誠		白数 昭雄
	若槻 一男		吉田 博浩
	吉岡 清貴		須藤 浩浩
	増田 利明		菊地 武夫
	小林 京悦		西田 健一
取締役	山部 哲彦		芳田 豊司
	上山 満隆		畠山 滉毅
	山崎 剛司		大山 靖靖
	岡本 秀男		藤田 賢樹
	岩佐 昌暢	社外取締役	余語 岳仁子
	澤田 洋三		田中 良子
	箕浦 公人	常勤監査役	大水 美名子
	中村 秀人	社外監査役	野宮 孝之
	沓川 靖		入江 一充
	伊藤 昌幸		長谷川 正義
	赤崎 五男		

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式の総数 171,459,479株
 株主数 50,199名
 単元株式の数 100株
 新株予約権の状況
 ①新株予約権の数 2,500個
 ②目的となる株式の種類および数 普通株式17,099,863株
 ③新株予約権の発行価額 無償

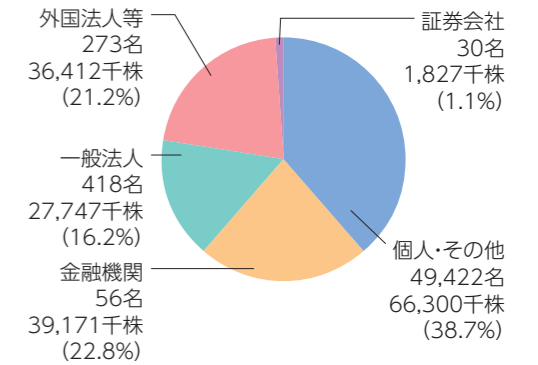
大株主

株主名	持株数	持株比率
日本電気硝子株式会社	24,003千株	14.41%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,914	3.55
株式会社りそな銀行	5,360	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,560	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,286	1.97
ジェーピー モルガン チェース バンク	3,115	1.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,542	1.53
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,142	1.29
エムエスシーオー カスタマー セキュリティーズ	1,941	1.17
佐野 和 美	1,910	1.15

(注) 1. 当社は自己株式を4,840千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.82%)所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

(2017年3月31日現在)

所有者別株式分布状況(持株比率)



事業年度
株主確定のための基準日

毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告 <http://www.nipro.co.jp/>
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度

保有株式数	継続保有期間	優待品 (JCBギフトカード)	基準日	発送時期
1,000株以上	1年未満	なし	毎年3月31日	基準日の属する年の 6月下旬
	1年以上3年未満	5,000円分		
	3年以上5年未満	10,000円分		
	5年以上	15,000円分		

- (注) 1. 継続保有期間とは、1,000株以上の株式を取得したことが株主名簿に記載または記録された日から各基準日（毎年3月31日）までの継続して保有した期間をいいます。
2. 株主優待の対象となる株主さまは、継続保有期間のいずれの時点においても、同一株主番号で1,000株以上を1年以上保有していることが当社株主名簿の記載または記録により確認できる株主さまとします。
なお、相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
また、保有株式の一部につき、信託設定、貸し株、NISA（少額投資非課税制度）口座への移管等がなされ、同一株主番号でなくなった場合は、それぞれの株主番号の名義ごとに継続保有期間および株式数を確認します。
3. 郵便事情により優待品の到着が遅れる場合があります。

株主名簿管理人
同事務取扱場所

〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当 金受取り方法の変更 等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱 いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店* ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行*およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。ただし、株式数比例配分方式を選択された株主さまについては、お取引の証券会社等にご確認ください。



ニプロ株式会社
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
TEL 06-6372-2331 FAX 06-6375-0669



この報告書は、再生可能な植物油インキを使用しています。